

現代に求められるインフラの長寿命化
新時代に対応した側溝修繕工法

日本各地域をカバーする ECOンビ工法のネットワーク



販売エリア: 150km圏

新潟県村上市
坂町窯業株式会社

新潟県田上町
中越製陶株式会社

兵庫県小野市
インフラテック株式会社

静岡県出雲市
株式会社ランコン

大分県日田市
株式会社原田興産

宮城県仙台市
菊田陶業株式会社

埼玉県熊谷市
株式会社大沢コンクリート工業

千葉県南房総市
有限会社三滝コンクリート工業

岐阜県多治見市
株式会社丸治コンクリート工業所

三重県伊勢市
インフラテック株式会社

香川県観音寺市
株式会社カンケン

熊本県あさぎり町
株式会社和商一

岐阜県美濃加茂市
有限会社リタッグ
ECOンビ工法研究会事務局

東京都府中市(賛助会員)
トヨタ工機株式会社

ECOンビ工法

ECONomical & ECOlogical



NETIS (評価促進技術) (国土交通省新技術情報提供システム) 登録 HR-120004-A
MADE IN 新潟 (プラチナ技術) (新技術普及・活用制度) 登録 19D1001

■ お問い合わせ先

全国リポーン側溝工業会グループ
ECOンビ工法研究会
事務局 0574-24-0318

■ パートナー企業名

ECOンビ工法研究会 正会員

中越製陶株式会社
宮城県仙台市青葉区田上町大字田上
688番地
0256-57-2370

坂町窯業株式会社
新潟県村上市坂町627番地
0254-75-5567

菊田陶業株式会社
宮城県仙台市青葉区田上
2丁目3番12号
022-272-1122

有限会社三滝コンクリート工業
千葉県南房総市明石100番地
0470-36-2150

株式会社丸治コンクリート工業所
岐阜県多治見市上山1-82
0574-26-1291

インフラテック株式会社
大阪府淀川区西中島6-1-1
新大阪プライムタワー504号室
06-6306-6393

株式会社ランコン
島根県出雲市斐川町上庄原
1681番地6
0853-72-0523

株式会社カンケン
香川県観音寺市大野原町萩原2649
0875-54-5612

株式会社和商一
熊本県埴原郡あさぎり町
免田西3003-2
0966-45-1251

株式会社原田興産
熊本県熊本市東区八反田
1丁目3-70 熊本支店
096-385-9071

株式会社大沢コンクリート工業
埼玉県熊谷市三ヶ尻2016
048-532-5132

ECOンビ工法研究会
賛助会員
トヨタ工機株式会社
東京都府中市四谷6丁目12-8
042-366-6011

ECOンビ工法研究会
特別会員

有限会社リタッグ
岐阜県美濃加茂市本郷町9-9-28
0574-24-0318

全国リポーン側溝工業会グループ
ECOンビ工法研究会

現代はインフラも維持管理の時代。 側溝も長寿命化・低コスト化が求められています。

近年、インフラの老朽化が社会問題になっています。
側溝本体も長寿命化が求められている中、
経済的で人と環境にも優しい新側溝修繕工法です。

ECONomical
— 長寿命で低コスト
ECOLogical
— 環境に優しい

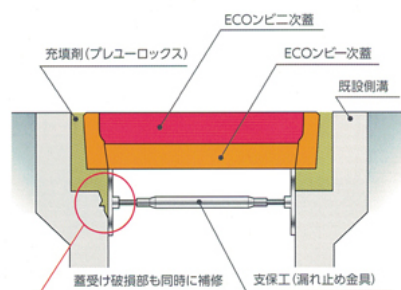
エコ ECONビ工法

求められる長寿命・低コスト化に対応、新技術の修繕工法

今後の側溝工事の未来予測。

側溝本体の長寿命化と維持コストのバランス。

今後、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが一斉に老朽化して来ます。戦後、インフラ整備が急務で、その後の経年劣化に伴う損傷は、長年問題が顕在化されてきました。国や自治体は、この先のインフラ高齢化や現代の様々な災害に備え、安全・安心を確保すると共に長期的なインフラの維持管理・更新等に係るトータルコストの削減を図る必要性に迫られています。現在、国や自治体でインフラ長寿命化計画が進められており、道路に関しても例外ではありません。日本の公道の長さは地球約30周分と言われており、側溝の長寿命化も同時に求められています。側溝の長寿命化・低コスト化は時代に強く求められており、ECONビ工法は現代の要望に対応した新工法です。



現代の側溝工事では、スピードや環境への配慮が求められています。

老朽化した既存の側溝においては、問題が山積みです。側溝の天端や蓋の上に車が通行することで、蓋のガタつきや破損が発生したりします。従来は、側溝本体と蓋を掘り起こして入れ替えるなど、長期間の工事が必要でした。工事中の重機の騒音や、排出される大量のコンクリート廃棄物も大きな課題でした。ECONビ工法は、**既存の側溝本体はそのまま再利用し、蓋のみを交換する新技術の修繕工法**であり、**重機を使わず人力工事で最短1日のスピード施工で完了し、即日交通解放が可能**となりました。周辺環境に配慮した静かな施工を実現し、短期施工で通行人の負担軽減も図られています。近年、日本各地でECONビ工法が多く採用されて施工実績が伸びていることも、その証と言えます。



「ECONビ工法により、 日本全国の側溝インフラ整備で社会貢献したい！」 ——それがECONビ工法研究会の願いです。

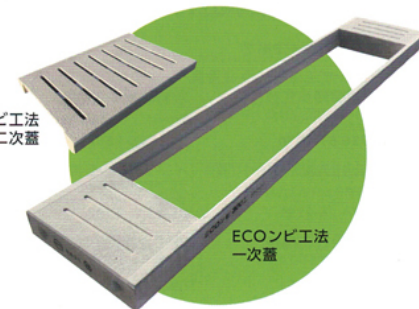
2007年ECONビ工法は新潟で施工を開始。当初の願いである「現代に求められる側溝インフラの長寿命化で社会貢献できるECONビ工法を日本全国に広めたい」という思いで2010年ECONビ工法研究会は発足しました。ECONビ工法は長寿命・低コストで環境に優しいばかりではなく、蓋重量も軽いので、近隣住民での側溝内の清掃作業軽減、水はけの悪さによる水たまり解消、細スリット採用による枝のはまり込み防止など、そこに住む人にも優しく、見た目も綺麗な仕様となっています。ECONビ工法研究会は、社会貢献力が高いECONビ工法のさらなる普及を目指し、日本各地のパートナー企業様と共に組織力の強化を図り、情報交換・共有を深め、工法の改善・強化・普及に努めて参ります。地域生活の向上、環境整備、地域社会の発展を希求し、更なる貢献に邁進いたします。

ECONビ工法は国土交通省や 新潟県の各種制度に登録

NETIS（評価促進技術）
（国土交通省新技術情報提供システム）登録 HR-120004-A
MADE IN 新潟（プラチナ技術）
（新技術普及・活用制度）登録 19D1001



ECONビ工法
二次蓋



ECONビ工法
一次蓋